



通学キャンプ～自分自身、再発見～が開催されました

国立磐梯青少年交流の家(小坂橋昇^{のぼる}所長)が主催する、25年度通学キャンプは「自分自身、再発見」をテーマに、11月10日から15日までの6日間、同所で開催されました。

小学校4年生から6年生までを対象とするこの事業は、集団生活や体験活動を通して、自立性やコミュニケーション能力など、子どもたちの社会

性を育成することを目的に毎年実施されているもので、今年には町内の全6校から合計63人の児童が参加し、交流を深めました。

本年度は初めて中学生がキャンプに参加。プログラムと夕食作りに加わり、小学生のリーダー役を務めました。

キャンプの様子を写真で紹介しします。



1_慣れない手つきで頑張ります。自分で作ることで、毎日食事を作ってくれる家族の大切さを実感しました
2_中学生リーダーが大活躍だった今回のキャンプ。小学生からも大人気
3_手巻き寿司をガブリ。自分たちで作った夕食は格別
4_「ほかの学校の友だちがたくさんできてよかった」と話した、初参加の草野見佑さん(右、千里小6年)と中学生リーダーとして参加した高橋星那さん(東中2年)。高橋さんは「小学校のときに参加したとき、ボランティアの人たちがかっよかった。自分もプログラムを盛り上げたくて参加しました」と話していました
5_プログラム「コーディネーション運動」。今まで体験したことのない遊びや運動に子どもたちがいきいきと取り組みました
6_ボランティアが企画したレクリエーション「フルーツバスケット」の様子。最終日の前日に楽しい思い出がもう一つ加わりました



笑顔でこんにちは

Hello in the smile



パパとママ、お姉ちゃんの陽菜乃ちゃんと一緒に笑顔でチーズ

「誰にでも優しく、いつまでもありのままの自分でいてほしい」。優真くんの名前には、両親のそんな願いが込められています。

鈴木 優真 くん

平成25年3月生まれ

～小田

大介^{だいすけ}さん・瑠美^{るみ}さん夫婦の長男

最近、伝い歩きができるようになった優真くん。とにかく立ちたくて仕方がなく、少しでも段差があると、ヨッコイショとつかまり立ちしています。ハイハイはもうお手のもの。自由に動き回り、何でも手に取って遊びます。「ニコニコ笑っているの、いたずらしても怒るに怒れない」とママの瑠美さんは笑います。元気がいっぱい、優真くんをみんなど温かく見守る鈴木家。お姉ちゃんの陽菜乃ちゃんも優真くんのことが大好きで、おもちやを持ってきてくれたり、おむつ替えを手伝ってくれたりするのだから、パパの大介さんは釣りが好き。「大きくなったら、一緒にバス釣りに行きたい。将来はバスプロになりたい」と夢を膨らませています。 ※「笑顔でこんにちは」に掲載希望の人は広報担当まで申し出てください。 ☎(62)2111

School topics

スクールピックアップ



猪苗代中が会津代表として堂々プレー 県中学校新人野球大会

強豪相手に互角の戦い
福島県中学校新人野球大会は10月20日、福島市の東邦銀行グラウンドで開催され、猪苗代中学校野球部が会津地区代表として出場しました。
猪苗代中は、初戦で強豪郡山六中と対戦。初回に先制点を奪われる苦しい展開でしたが、3回に3点を奪い返し逆点、試合をひっくり返しました。最終回に追いつかれ同点となり、タイブレークに突入すると、延長8回、相手に逆転を許し惜しくも敗れました。
長峰悠真主将は「目標だった県大会出場を成し遂げることができました。惜しくも負けてしまいました。自分たちの野球をレベルアップしたいと思います。また県大会に挑戦し、さらに大きな大会へ勝ち進んでいきたいです」と抱負を語りました。